

一般質問

・健康寿命について



水野克尚

問

健康で暮らすためには、特定健診や一般健診により予防と健康状態を把握することが大切です。受診率を向上させる方策は。また、国民健康保険加入者と後期高齢者を対象に、人間ドック受診に対する補助金2万円を支給しているが知らない方も多い。良い制度なので多くの方に利用してもらうよう広報すべきと思うが方法は

答

毎年、目立つ封筒で受診券と案内チラシを送っています。広報おまえぎきやケーブルテレビなど広報媒体を利用して周知に努めています。人間ドックの助成制度については、特定健診の受診券に同封してお知らせしています。今後も、制度の周知と受診率向上に取り組めます。

問

健康増進計画21を策定し栄養・食生活や身体活動など7項目について目標値をたてている。どのように実践していくのか

答

たばこについては、保健指導や健康講座を行い、数値を基に禁煙の必要性について周知を図っています。アルコールについては、おいしいお酒を楽しく飲んで健康的な生活が送れるよう、適正量や身体に及ぼす影響について知識の普及を行っています。

問

国では人生百年時代にむけ構想推進室を立ち上げました。市の健康福祉部のみならず、市民課、教育委員会や農林水産課など連携して、健康増進計画に対応すべき組織が必要だと思うが考えは

答

この計画を推進するため、母体となる、しかるべき委員会の立ち上げを考えていきたいと思います。



健康増進計画 21・けんしんガイド

一般質問

・大栄環境産業廃棄物処理場について
・原発問題について



清水澄夫

問

市長は財産区管理者として、大栄環境(株)がどのような会社か調査をして、土地の賃貸契約書に捺印したのか

答

環境に影響を与えるなど法令に違反したときは建設ができず、使用目的が達成できないため、契約が解除できることを確認して捺印しました。

問

9月議会の答弁で市は、市民に産廃施設の説明会を行わないと断言したが、市内に誘致をされようとしているのに説明会をしないのは、市民に目隠しをするようなもので大問題ではないか

答

市に進出を計画している大栄環境(株)は、現在、県の環境影響評価条例に基づき環境アセスメント調査を始めたところです。この計画に不安を訴える市民がいるので、事業者に住民説明会を開催するよう要請しています。

問

産廃業者が環境に与える影響は、計り知れません。特

問

にダイオキシンの発生は深刻で、地域の農業や漁業、あらゆる産業に影響があるが、市民にどう説明するのか

答

国はダイオキシン類の発生に厳しい規制基準を設けました。市は、産業廃棄物に関する許認可権限をもつ県と連携し、法令に従い適切に対応していきます。

問

市は、原発事故がらみの避難訓練は具体的に実施をしていない。県は浜松、その後は長野県に避難する方針だが、被災者の運搬車両や被爆検査、誰を優先的に避難させるのかなど課題は山積みだが、具体化しているのか

答

年に1回、県及びUPZ圏内11市町が訓練を主催しています。昨年度は、放射性物質の汚染を確認する避難退域時検査、避難経路所の運営訓練を実施しました。今年度は、浜松市内で訓練を予定しています。今後も、各訓練を充実させ、関係機関と調整、協議していきます。